

令和4年度 建設業デジタル化促進モデル事業現場見学会（畠山建設株式会社）

<デジタル化促進モデル事業の実施内容>

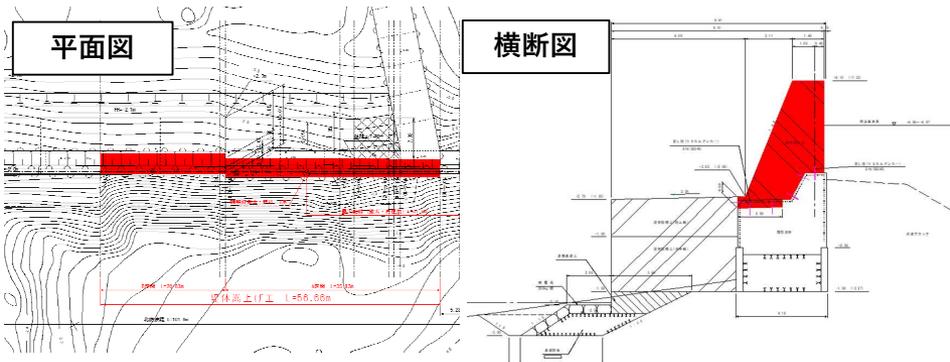
導入機器：自動追尾型TS、施工情報端末

<工事概要>

工事名：漁流通 第1-5号 田ノ浦漁港水産流通基盤整備工事
 請負代金：34,056,000円、工期：令和4年9月30日～令和5年3月25日
 工事内容：北防波堤(改良) L=56.7m
 堤体嵩上工 L=56.7m、Con V=611m³

<参加者>

17名（建設会社：4社8名、県職員：2名、市町村職員：7名）



施工者のコメント

本器導入以前は、測量・丁張に多くの人員を必要としてきたが、杭ナビ・快速ナビを導入したことで、機械の操作と手元が1人で行え、人員の削減になりました。
 今後は3Dデータ作成ソフト等の導入・活用により、更に作業効率の向上につなげていきたいと考えております。

プロセス	使用機械等	従来	ICT	効果	評価
3次元測量	杭ナビ・快速ナビ（今回導入）	2人・日	1人・日	-50%	杭ナビ・快速ナビを導入することで、従来では2人の測量を、1人ですることができ、人員の削減になり、作業効率も向上した。
3次元設計データ	—	—	—	—	—
ICT施工	杭ナビ・快速ナビ（今回導入）	3人・日	1人・日	-70%	位置出し作業・検測作業時に3人程度で行っていたが、1人で検測が可能になり、その分の人員を別の作業に回すことができた。
3次元出来形管理	—	—	—	—	—
合計		5人・日	2人・日	-60%	

発注者のコメント

杭ナビの活用により、大幅に人員を削減でき生産性の向上につながっている。今後は3次元設計データを活用することによる更なる生産性向上に向けた取り組みに期待する。